製品のお手入れ方法

樹脂製品のお手入れ

樹脂は鉄などの金属のように錆びる心配がなく、管理の手間が少ない素材です。しかし、表面に付着した汚れを長期間そのままにしておくと、変色や劣化の原因になることがあります。定期的なお手入れにより、樹脂製品をいつまでも美しく保つことができます。

汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布、スポンジ	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布、中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

樹脂製品のお手入れのご注意

◆お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
◆金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
◆小石、砂などが付着したままこすると、表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
◆アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
◆掃除用洗剤にご注意ください。ガラスクリーナーなどの有機溶剤を含むクリーナーは使用しないでください。殺虫剤などのスプレーも吹き付けないでください。
◆工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
◆定期的なお手入れにより、樹脂製品をいつまでも美しく保つことができます。

アルミ製品のお手入れ

アルミはスチールなどと比べ、サビにも強く、維持費のかからない素材です。しかし、表面に付着した汚れを長期間放置しておくと腐食の原因になることがあります。お手入れのポイントは年に数回の水洗いです。それだけで、アルミの美しい光沢はいつまでも保てます。

汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布、スポンジ、水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布、中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

アルミ製品のお手入れのご注意

◆お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
◆金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
◆小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
◆アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
◆小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
◆安全のため、定期的にボルト、ナット、ビスにゆるみがないか確認してご使用ください。
◆工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
◆定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

天然木製品のお手入れ

木は製品になった状態でも生きているため、年月の経過と環境の変化に伴い、経年変化をお楽しみいただけます。
ご使用にあたりましては、天然木製品の特性をご理解の上、末永くご愛用ください。

天然木製品のお手入れのご注意

◆天然木製品は、雨や紫外線により色あせが生じます。いつまでもより美しくご使用いただくためにも、1年を目処に、木材保護塗料の塗り替えをおすすめします。
◆木材保護塗料を塗る場合は、施工店にご相談いただくか、市販の木材保護塗料をご購入のうえ、お客様にて塗り替えを行ってください。
◆お客様で塗り替えを行う場合には、各塗料に掲載されている注意事項を厳守してください。
◆塗り替える前に商品を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。
◆必ずハケで塗装してください。その後乾いた布でふき取ると、仕上がりが良くなります(ホワイト以外)。保護塗料には薬品が含まれているので、スプレー塗装は避けてください。
◆木の通気性を損なう種類のニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。表面に塗膜が形成され、木材内部の水蒸気が発散されないため、内部で腐食する恐れがあります。
◆パネル等の裏側がメンテナンスできない場合は、パネルなどを柱から外すなどして、全体をメンテナンスしてください。またデッキの裏面なども、可能な限り保護塗料によるメンテナンスを行ってください。
◆商品にささくれ等が発生した場合は、ケガ防止のため速やかに、やすりがけや市販の木製用パテによる補修を行ってください。また浮いた釘やビスは打ち込んだり締め直してください。
◆金具などにキズがつき、塗装面および防錆処理層を超えると、サビや劣化の原因となります。金具のキズやサビを見つけた際は、速やかに市販のサビ取り剤を使用してサビを除去し、市販の防錆処理塗料などで補修を行ってください。

ポリカーボネート板のお手入れ

ポリカーボネートはとても擦れキズのつきやすい材質です。擦れキズを防ぐために、市販のポリカーボネート用のコーティング剤を使用することをおすすめします。ポリカーボネート表面を保護、光沢保持することができます。また、すでについてしまった擦れキズを、ある程度目立たなくすることができます。

掃除方法

ポリカーボネート板の美しさを保つ効果的な方法は、定期的な水洗いです。

ポリカーボネート板のお手入れのご注意

◆鳥のフンなどを取り除く際には、パネルにキズがつかないように注意してください。
◆洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。
◆シンナー、ベンジン、ガラスクリーナーなどの溶剤、研磨剤、熱湯、乾いた布を使用しますと、キズ、破損、変形の恐れがありますので、使用しないでください。
◆古くなったパネルは、早めに交換してください。強風、衝撃で破損しやすくなります。

タイル製品のお手入れ

天然石調の質感が美しい高級磁器質タイルです。重厚感があり、混然とした深い色合いは洋風に限らず、和風の庭にもコーディネートできます。

タイル製品の掃除方法

◆タイル表面に付着した土や泥など、正常のご使用時に生じる汚れは、水道水や家庭用洗剤を用いて、ナイロンブラシ等でこすり洗いしてください。
◆酸性の洗剤は表面を傷める恐れがありますので、使用しないでください。
◆コンクリートやモルタルのアルカリ成分が水に溶けて表面に白い粉状の汚れ(白華)が生じる場合があります。軽い白華ならばワイヤーブラシなどでも落とせます。しつこい場合は、塩酸を10~20倍に薄めたもので洗い、その後水で十分に洗い流します。(塩素系洗浄剤などでも代用可)

天然石製品のお手入れ

天然石ならではの自然が活きる表現力や、美しさを感じていただくことができます。ユニット式なので、施工が簡単でスピーディーです。

天然石製品の掃除方法

◆表面に付着した土や泥など、正常のご使用時に生じる汚れは、水道水や家庭用洗剤を用いて、ナイロンブラシ等でこすり洗いしてください。
◆酸に弱いため、メンテナンスの際には酸洗いや酸性洗剤を使用しないでください。
◆石材の吸水性により、使用場所、使用環境によって、コンクリートやモルタルのアルカリ成分が水に溶けて、表面に白い粉状の汚れ（白華）が生じる場合があります。白華は商品の欠陥ではありません。軽い白華ならばワイヤーブラシなどで落とせます。白華、凍結融解等による割れの予防として、石材用の浸透性吸水防止剤等の使用をおすすめします。

ガーデンファニチャーのお手入れ

ガーデンファニチャーは風雨やホコリ、直射日光などの厳しい環境の中に置かれます。耐用年数も、置かれる環境や使われ方、お手入れの有無やその方法により大きく変わってきます。各商品とも屋外での使用に適した素材、表面処理を施していますが、末永くお使いいただくために素材の特性へのご理解と、定期的なお手入れをおすすめしています。

アルミ鋳物製品について

各商品には屋外使用に適した塗装を施しています。アルミ鋳物は鉄と比較して錆びにくい性質を持っていますが、キズがつくとそこからサビが発生します。小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れた場合はからぶきしてください。

鉄・鉄鋳物製品について

各商品にはサビを防ぐ塗装を施していますが、キズがつくとそこからサビが発生します。特に鉄製品は素材の特性上、サビが早く進行します。小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れた場合はからぶきしてください。また、ご使用場所によっては、サビの色が周囲の床や壁に付着する場合がありますので、ご注意ください。なお、今日ではエージング（経年変化）による金属の錆びた風合いを楽しむ傾向も増えています。

天然石・モザイクタイル製品について

天然素材を手作りしているため、石やタイルのサイズ、形状、色味に若干の個体差があります。濃色の製品は経年変化による変色が目立つ場合もあります。お手入れは水ぶき程度で十分ですが、著しい汚れを落とす場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。

ガラス（天板）について

フラットな天板は安定性にも優れています。屋外使用に適した強化ガラスを使用していますが、衝撃にはご注意ください。お手入れは水ぶき程度で十分ですが、著しい汚れを落とす場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。

プラスチック製品について

プラスチックファニチャーは軽量で丈夫です。高い耐久性を持つ当社の樹脂製品は紫外線、熱などに強く、その美しい色を長く保ちます。お手入れは水ぶき程度で十分ですが、著しい汚れを落とす場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。

木製品について

日常のお手入れは、からぶきをしてください。汚れた場合は、染み込まないうちに水ぶきで汚れを落とした後、からぶきをしてください。木製ガーデンファニチャーは天然素材を使用したハンドメード商品です。そのため、木目、色、サイズなどに若干の個体差があります。素材の特性上、表面にクラック（ひび）が入ることがあります。また、使用条件にもよりますが、数カ月で木肌がシルバーグレーに変色します。これは皮革などと同様に、天然素材の特徴であるエージング（経年変化）によるもので、耐久性には問題ありません。オイルステイン仕上げの商品についても、経年変化で変色しますので、色を保ちたい場合は、表面をサンドペーパー等で軽く研磨した後、浸透性塗料の塗布をおすすめします。

色変化前

色変化後

ガーデンファニチャー&アクセサリー

P.787～906

施工上のご注意

警告

●組立品は、取扱説明書の手順に従って、各部品をボルト、ナット等で確実に締めてからご使用ください。締め付け不良は事故の原因となります。組み立ては安全に作業できるよう、また手や指を挟まないようご注意ください。
●ボルト、ナットに過剰な力を加える電動工具のご使用は避けてください。鋳物製品は鋼製品に比べ材質的に脆い特性がありますので、ボルト、ナットの締め過ぎは、ボルトの破断や商品の破損の原因となります。
●組立施工完了後にボルト、ナット、ビスのゆるみがないか再点検し、施工の汚れを取り除いてください。

ご注意

●施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しするとともに、取扱方法およびメンテナンスについて十分ご説明ください。
●給湯、暖房機などの排気熱が、商品に直接当たらないように施工してください。
●大型商品は、安全に組み立てるために必ず指定の人数以上で施工してください。1人で組み立てると無理な力がかかり破損することがあります。
●自動潅水システム本体を逆さまや横向きに設置しないでください。動作不良や故障の恐れがあります。
●雨水タンクは、雨水がたまると水圧でタンク表面が膨張する場合があります。建物や塀などとのクリアランスは、10cm以上確保してください。
●雨水タンクは、直射日光のできるだけ当たらない場所に設置してください。直射日光が当たるとタンク内の雨水が高温になったり、腐ったりする場合があります。
●雨水タンクの設置場所は、平らで安定した場所を選んでください。不安定な場所に設置すると雨水タンクが倒れて、ケガをする恐れがあります。
●雨水タンクの設置場所は、雨水を満水にした状態の重量(約250～300kg)に耐えうる構造にしてください。コンクリート土間の上に設置する場合、15cmの厚みが必要です。

使用上のご注意

警告

●商品は家庭での使用を原則としています。
●家具、アクセサリー類としての目的以外の用途には使用しないでください。
●商品の1カ所に荷重をかけないでください(テーブル天板の片側に手を付き体重をかける、チェアー類に座っている際に商品の後脚だけに体重をかけ、前脚を持ち上げる等)。また商品の上に乗る、よりかかる、ぶら下がる等の行為はおやめください。商品の破損や事故の原因になりケガをする危険があります。
●床に傾斜や段差のある不安定な場所、強い振動、衝撃のある場所では使用しないでください。ガタツキや転倒の原因になり破損の可能性があり危険です。
●ガラステーブルの天板に、加熱した鍋等を直接置かないでください。熱でガラス天板が割れる可能性があり危険です。
●その他、転倒、破損の原因となる行為、乱暴な取り扱い、商品の改造(分解、当社オプション品以外の取り付け等)はおやめください。商品の性能が低下する恐れがあり、破損や事故の原因となります。
●ご購入後年月を経た商品は、素材の劣化、品質、機能が低下している可能性がありますので、使用前にご確認ください。特に、公共・商業施設など不特定多数の人が利用する場所への設置は、安全のため日常的にメンテナンス等の管理を行ってください。
●雨水タンクは雨水専用です。灯油、ガソリン、薬品、海水、温泉などの貯留目的に使用しないでください。
●タンク内にたまった水を、飲料水には絶対に使用しないでください。

ご注意

●商品は一部を除き屋外でご使用いただけますが、荒天(強風、豪雨、台風など)時は屋内で保管してください。
●組立品のビス類はご使用いただいている間に少しずつゆるんでくることがあります。定期的にご確認いただき、ゆるんでいる場合は締め直してください。
●商品の移動の際は引きずらず、手で持ち上げて運んでください。特に重量物は持ち上げる際にご注意ください。水を使用する商品は、水を抜いてから移動させてください。
●商品の移動、折りたたみ、積み重ねなどの操作は、ゆっくりと確実に行ってください。すき間に手や指を入れないでください。
●テーブル天板やチェアーの上に、極度の重量物や、極度の高温物をのせないでください。また裸火、暖房器具のそばなど高温になる場所、エアコン室外機のすぐそばでは使用しないでください。
●金属製品は、その素材特性上、サビが発生することがあります。雨水等で商品が濡れた場合は、早めにふき取るなどのお手入れをおすすめします。また、周囲の床等にサビの色が移ることがあります。使用場所にご注意ください。
●スチール製品に塩化ナトリウムや塩素系薬剤等が付着すると、サビが発生する原因となります。プールサイドや海辺での使用により、商品に塩化ナトリウムや塩素系薬剤等が付いた場合は、水道水で十分に洗い流した後、しっかりふき取ってください。
●人工石製品は素材の特性上、汚れの付着、紫外線の影響による変色、白華現象が起こる可能性があります(白華が周辺の床や壁に付着し、除去できない場合がありますので設置する場所にご注意ください)。また、強い衝撃にはご注意ください。
●ガラス天板の上に物を落下させないでください。割れる可能性があり危険です。強化ガラスを使用していますが、衝撃にはご注意ください。
●チェアー類のクッションは防水仕様ではありません。雨天などの際は屋内で保管してください。
●陶器製品は、商品によって表面および内面にザラツキがありますので、ケガなどにご注意ください。
●陶器、テラコッタ、人工石製のポット、プランターは、衝撃などによる破損の恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
●お子様、高齢者、妊婦、また身体の不自由な方が使用される場合は、安全のために周囲の方がご配慮、ご注意ください。
●ポットは低温や凍結による割れ、欠け、ひび、はく離などの恐れがあります。特に寒冷地でのご使用は十分ご注意ください。
●底穴があいていないポットに水をためないでください。割れ、欠け、ひび、はく離などの劣化の原因となります。
●ACQ加圧注入処理した天然木製品は、雨等により、ACQが漏れ出す可能性があります。周囲にシミ状の汚れが付着する恐れがありますので、設置場所には十分ご注意ください。

●自動潅水システムは必ず上水道に接続してください。池や川の水、海水、雨水などの汚れた水を使用すると、ノズルが目詰まりを起こし危険です。
●自動潅水システムをご使用の際、凍結する恐れのある場合は、蛇口を閉め、給水ホースとガーデンホースつぎてを取り外し、電池を抜いて、本体を軽く振って本体にたまった水を抜いてください。

●自動潅水システム本体を踏みつけたり、重い物をのせるなど、衝撃を与えないでください。
●自動潅水システムのホースやノズルの配置方法は、対象とする植物によって異なります。植物維持管理の専門家のアドバイスを受けてください。
●自動潅水システムは、小さなお子様の手の届く場所で使用しないでください。
●自動潅水システムでの水やりは、日差しの強いときを避け、早朝か夕方に行ってください。植物の根が枯れる恐れがあります。
●雨水タンクは、安定させるために、必ず蛇口の取付口付近まで水をためてください。タンクが空の状態では安定が悪く、転倒する恐れがあります。
●タンク内の雨水は衛生上、飲料や炊事用に適しません。庭木の散水などにご使用ください。
●雨水タンクに長期間雨水をためた状態で放置すると、ボウフラが発生したり、雨水が腐ったりする場合があります。定期的に点検してください。
●雨水タンク内部や取水器は、定期的に掃除を行ってください。
●凍結の恐れのある地域では、タンク内にたまった雨水は完全に排水してください。雨水が凍結膨張して、商品が破損する場合があります。
●雨水がたまって水圧がかかると、蛇口や排水口まわりから水漏れが発生する場合があります。冬場では漏れた水が床で凍結して滑る可能性もあるのでご注意ください。

ご理解ください

●ガーデンファニチャー、アクセサリーは一部を除き、屋外用として製造されていますが、屋外では紫外線、風雨、ホコリなどによる影響を受けて、素材の特性である経年変化（サビや色の変化など）の発生、商品の劣化や汚れの付着が起こります。また商品の置かれる環境や日常のご使用方法、メンテナンス等で、商品の寿命も大きく変わります。素材の特性や形状、機能をご理解いただき、安全に楽しく、末永くお使いいただきますようお願いいたします。
●木や石、陶磁器など天然素材を使用している商品は、色調やサイズ形状に個体差があります。
●木製品は、雨や紫外線にさらされると、木肌の色が徐々にシルバーグレーに変化していきます（使用条件にもよりますが数カ月で変化します。これは表面の色変化で品質には問題ありません）。また、エージング（経年変化）による割れや欠け、ささくれなどの劣化が発生する可能性があります。
●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンスをおすすめします。
●万一破損した場合、また商品に異変を感じた場合には、すみやかに使用を中止し、購入店またはお近くの当社本支店、各営業所までご連絡ください。